

教職員研究チーム活動状況報告書

| | | |
|-----------------|---------------------------------|------------------------|
| 代表者の所 属・職・氏名 | 兵庫県立 和田山特別支援学校 職・氏名 教諭 吉池 次男 | 研究チーム名 (米作り体験チーム) |
|-----------------|---------------------------------|------------------------|

研究テーマ分類番号 (9)

| | | |
|-------------------|---------------------|----------------------|
| (1)研究テーマ | | |
| お米作りを体験しよう | | |
| (2)研究経過及び具体的な取組 | | |
| 1 北部農業センターとの打ち合わせ | | |
| ・ 第1回 | | |
| 日 時 | 4月9日(金) | |
| 打ち合わせ内容 | 年間栽培計画および学習活動について | |
| ・ 第2回 | | |
| 日 時 | 5月1日(火) | |
| 打ち合わせ内容 | 田植え学習について、田圃等の確認 | |
| ・ 第3回 | | |
| 日 時 | 7月5日(月) | |
| 打ち合わせ内容 | 稲の成長観察学習について | |
| ・ 第4回 | | |
| 日 時 | 8月11日(水) | |
| 打ち合わせ内容 | 稲刈りについて、野菜栽培に関する相談 | |
| ・ 第5回 | | |
| 日 時 | 9月17日(金) | |
| 打ち合わせ内容 | 脱穀等について | |
| ・ 第6回 | | |
| 日 時 | 11月11日(木) | |
| 打ち合わせ内容 | 本年度の反省および次年度の活動について | |
| 2 北部農業センターでの米作り体験 | | |
| ・ 5月12日(水) | 田植え準備 | 中学部と高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 6月 7日(月) | 田植え | 中学部と高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 6月29日(火) | 稲の観察 | 高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 7月28日(水) | 稲の観察 | 登校日に中学部と高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 9月28日(火) | 稲の観察 | 中学部と高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 10月 8日(金) | 稲刈り | 中学部と高等部の生徒が参加した。 |
| ・ 10月21日(火) | 籾摺り、脱穀 | 中学部と高等部の生徒が参加した。 |

3 畑での野菜作り

毎週木曜日に学校の畑で野菜作りを行っている。トマトやなす、白菜、大根など季節に合わせた野菜作りを行っている。

4 成果と課題

今回の米作り体験においては、北部農業センターからは資材や農地の提供と技術指導を、近隣の農業高校からは牛糞堆肥を購入させていただくなど、地域の教育資源を生かした活動ができた。

米作りに関しては、専門家からみれば日頃苦労されているうちのほんの一部だけの知識やノウハウを教えていただいたに過ぎないが、ほとんど素人の我々にしてみれば驚かされたり、改めて納得したりすることの連続であった。特に日照時間や温度変化、降雨量、あるいは小動物や昆虫などが米作りには密接に関わっており、自然の営みが日本人の主食である米のみならず、日頃口にする命に関わる食べ物に重要な影響を及ぼしていることを改めて実感させられた。

体験学習や生産活動は、生徒にとっては大変意義が深く、教育効果も大である。今後、このような学習を、本校の教育活動にどのように位置付け、どのように発展、展開させていくのかを十分に考えなくてはならない。また、農地の確保や校内での指導者の確保なども大きな課題である。